

## 目標達成計画

作成日: 令和6年3月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	【運営推進会議を生かした取り組み】 ①運営推進会議が書面開催である。 ②参加者の感想を伝える機会がない。 ③家族や第三者にグループホームを運営していく上での意見を提案してもらう会にする。	①集合しての運営推進会議を開催する ②前回の運営推進会議の意見を次回の会議で伝える。または郵送する ③運営推進会議ごとにテーマを決めて意見交換する	①運営推進会議開催の第三者や家族に開催を伝える ②左記のとおりに行う ③会議のテーマを検討する	6ヶ月
2	23	【思いや意向の把握】 ご利用者の生活歴を把握することが十分にできていない。利用者の情報を持っているが、記録に残っておらず、共有できていない。	利用者の生活歴や好きな物、会話、などを記録することで、思いや意向を、職員全員が把握することができる。	利用者ごとにライフストーリーノートを準備し利用者からの情報を得た際に、職員が記入する仕組みを作った。ノートから利用者ごとの思いや意向を把握することができる。	3ヶ月
3	27	【個別の記録と実践への反映】 個別のケアプランと介護記録の内容が連動されていない。	ケアプランの内容が、介護記録に生かされていない。	チェックリストを作成して、ケアプランがケアに反映されているか、サービス内容が実践されているかを、日々確認する。	6ヶ月
4	35	【災害対策】 消防訓練はなされているが、災害対策訓練に取り組んでいない。	当事業所独自の災害対策を検討する、	BCPの整備と職員への周知。垂直避難訓練を計画し、実行する。	6ヶ月